

# 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会 ☎075 - 432 - 3261

2023年6月①号

## <議会報告>マイナンバー保険証の一体化、健康保険証の廃止を撤回すべきと意見書討論



玉本 なるみ 議員  
(共産党 北区)

マイナンバーカードの取得は任意であり申請制です。すべての国民が取得しなければならないものになっていません。一方、健康保険証は、国民皆保険制度

のもと、保険者により、すべての被保険者に無差別・無条件に交付されるものです。制度の仕組みが異なるものを強引に一体化しようとするのは、マイナンバーカードを普及するために健康保険証を利用していると言わざるを得ません。

しかも、マイナンバー保険証は、重大な欠陥がいくつもあります。たとえば、定年などで社会保険から国民健康保険に切り替えの手続きをしますが、現在は当日に保険証の発行ができていますが、しかし、マイナンバーカードへの登録には数日のタイムラグが起り、無保険状態となることの問題が起っています。また高齢や障害などにより、マイナンバー保険証の取得の申請が困難な方も多くおられます。現在の健康保険証は原則すべての国民に交付されることになっているため問題はありますが、この保険証が廃止されれば、無保険状態になります。厚生労働省は「資格確認証」を発行して対応できるとしていますが、この資格確認証でさえも、申請をして、交付されるものとなっています。制度の欠陥を埋めるために対策が次々と出されても、矛盾は解消しません。国民皆保険制度の根幹を揺るがすことは認められません。今の保険証を変える必要はまったくありません。全国の開業医の6割が参加されている全国保険医団体連合会から、5月23日に廃案を強く求める声明も発表されています。国民の命と向きあう医師の皆さんの声を重く受け止めるべきです。

## <議会報告>敬老乗車証の負担を元に戻して!

6月6日の環境福祉委員会での陳情審査の質疑を紹介します。

高齢者の皆さんは年金の削減や75歳以上の方の中には医療費が2割になった方もあり、その上に「敬老乗車証の負担の増大はひどい!高齢者いじめだ!」とお聞きした声を紹介し、負担の増大はやめるべきだと質問しました。すると当局は「年間20万円のフリー定期券の価値があり、これまで、年間3000円の方が、9000円をご負担いただき、受益のバランスを取った」「補完するものとして、敬老バス回数券をつくる」という内容の答弁を繰り返しています。

労働者が通勤に必要な定期券と年金生活になっている高齢者の敬老乗車証とはまったく質の違うものだとただしました。

## つぶやき：京都市消防団査閲 大宮分団5位入賞!

6月4日、京都市消防学校で、4年ぶりの査閲に参加。各行政区の代表が整列や行進、ポンプ走法などを競いました。北区は大宮分団が出場し5位に入賞しました。お疲れさまでした。



## アンテナ

大切な山をロケット

左写真は、北区原谷の南部の突き当りの山にゴミがあるとのこと、後援会の皆さんと調査に行った時の写真です。

なんと、目を見張るほどのゴミだらけで驚きました。数十年前に活動していた産廃業者がゴミを置いたまま、廃業してしまったのではないかと思われる状況でした。もともと、市街化調整区域で、建造物は建ててはいけなない地域です。私有地であり、行政としては、関わりにくい状況にあるようですが、このまま放置しておくにはいけません。

他にも数か所不法投棄の所もあります。なんとか、撤去できるように、京都市の関係する担当局などに働きかけています。



ゴミの状況を調査する玉本なるみ市議

